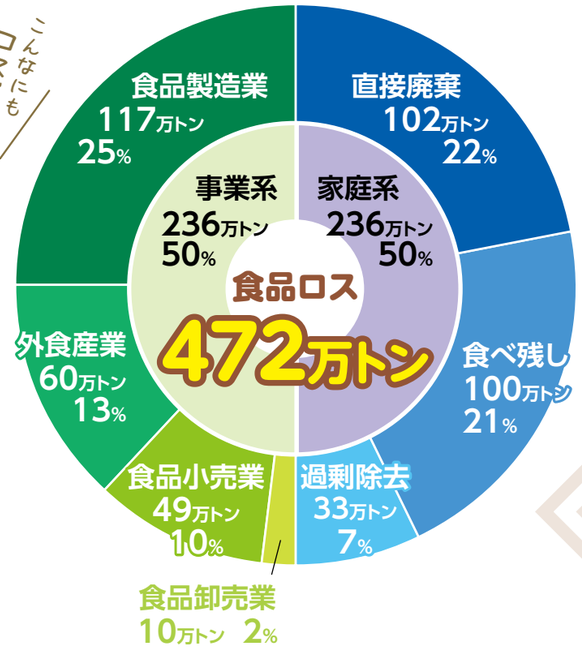
今 食品ロス問題を考えよう

問 ごみ減量推進課 ☎537・5687

国内の食品ロス発生量



農林水産省・環境省（4年度推計）

※小数点以下を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。

市ごみ減量・リサイクル推進イメージキャラクター **リサイクルン**

食品ロスとは、売れ残りや食べ残し等の理由で、本来食べられるのに廃棄されている食品のことです。国内では年間約472万トン（4年度）発生していると推計されています。これを国民1人当たりに換算するとおにぎり1個分の食べものが毎日捨てられていることになります。

また、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量（2022年で年間480万トン）とほぼ同等に相当します。

市では、食品ロスを計画的に削減するために、4年3月に「大分市食品ロス削減推進計画」を策定し、消費者や事業者、行政等が連携して取り組みを進めることとしています。

買い物をするとき、料理を作るとき、食べるとき、生活の中のさまざまな場面で、できることから始めてみませんか。

過剰除去※2を減らすには

- 調理の工夫（ベジブロス※3など）
- 使いきりレシピの活用

食べ残しを減らすには

- 状況に応じた適量の食事の準備
- 保存の工夫や食べきり

直接廃棄※1を減らすには

- 買物前の食材確認、適量の購入
- 消費・賞味期限表示の理解
- フードドライブへの参加

※2　過剰除去…野菜の皮を厚くむくなど食べられる部分を捨てること
※3　ベジブロス…野菜のくずでとるだし汁

※1　直接廃棄…未開封の食品を食べずに捨てること

フードドライブで食品ロス削減

フードドライブとは、家庭で余っている食品を地域のイベントや学校、職場などに持ち寄り、それを必要としているフードバンク等の福祉団体や施設等に寄付する活動です。

食品リサイクルループで環境に優しく

食品廃棄物は、まず発生を抑制することが第一ですが、発生してしまった廃棄物は堆肥に活用するなど再生利用が望まれます。

イオン九州㈱の例

フードドライブを、市内15店舗で毎月第2月曜日から1週間実施しています。平成31年に始まったこの活動は、回収重量累計が100トンを超えました。

また、店舗から出る食品廃棄物を回収・堆肥化し、その堆肥を利用して農作物を栽培、店舗で販売する食品リサイクルループを行っています。

さらに、農場で採れる規格外の野菜を使用し、楊志館高等学校調理科の生徒と協力してドレッシングを開発しました。

規格外の野菜を使用したドレッシング

生ごみを減らそう！生ごみ処理容器の使い方講座

市が支給や貸与などを行っている生ごみ処理容器の種類や、それらを使った堆肥の作り方を学びます。

経験者も未経験者も気軽にどうぞ♪

日時・場所 11月16日(土) 午後2時～3時30分 植田市民行政センター
11月30日(土) 午後2時～3時30分 鶴崎市民行政センター

定員 各日30人（多数時は抽選）

申込み ごみ減量推進課（本庁舎4階）または各支所に備え付けの申込書（市ホームページでダウンロード可）を10月25日(金)までに提出。

ごみ出しが楽になるよ☆

コンポストくん

ダンボールコンポストちゃん

大分を味わおう！食べきり使いきりクッキング

無料 八百屋んおいさん×フードディレクターによる

日時・場所 11月24日(日) 午後2時～4時30分 J:COM ホルトホール大分 1階キッチンスタジオ

対象 市内居住の子ども1人（小学4年生～高校生）とその保護者

定員 12組（多数時は抽選）

講師 木村真琴氏（フードディレクター）
三浦崇志氏（三浦青果店）

申込期間 10月1日(火)～31日(木)

申込み▶

守ってください！スプレー缶・ガス缶類、ライター類の出し方

45リットル以内の透明・半透明の袋で出してください。
（別々の袋でスプレー缶・蛍光管等の収集日に出してください）

【スプレー缶・ガス缶類】
中身は使いきり、穴を開けずに（使い残しは、必ず屋外で出しきってください）

【ライター類】
使いきり、着火する部分を水でぬらして

「スプレー缶・蛍光管等」以外の日に出さないで！
火災の原因になります。

問 清掃業務課 ☎568-5763

10月は「ごみ出しマナーアップ推進月間」です
決められた日に、決められたごみの排出を！

人権標語 | ありがとう　いつもとなりに　いてくれて